

2015年2月28日

村落給水施設（ウォーターヤード）のオペレータ用点検チェックシートの作成

2015年の1月から2月にかけて、白ナイル州、センナール州において給水施設のモニタリング体制構築のため、3回目のワークショップが開催されました。

スーダンの村落地域では「ウォーターヤード（WY）」と呼ばれる給水施設が一般に普及しています。WYは井戸、共同水栓、水中モーターポンプ、電源装置及び高架タンクが一体となった給水施設を指し、周辺村落住民や家畜に飲料水を提供しています。

しかし、WYは広範囲に点在しており、州の水公社で管轄するWYの運営維持管理が課題となっています。そこで本プロジェクトでは、WYを対象として、運営維持管理の改善を図るためにモニタリング体制を構築することになりました。

2015年2月までに、白ナイル州テンデルティ地区、センナール州シンジャ地区においてそれぞれ100箇所以上のWYのモニタリングが完了しました。

第3回となる今回のワークショップでは、実施された給水施設のモニタリングの結果を受けて、教訓や改善点を抽出し、モニタリング計画及びマニュアルを完成させることが目的です。

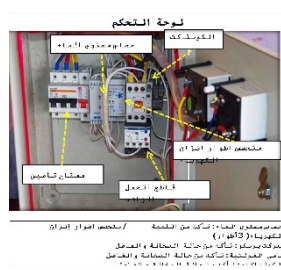
これらの地区で施行されたモニタリングを通じて、さまざまな課題が浮かび上がりました。

その一つにWYオペレータの役割があります。現場で日々、WYを運転・維持管理するオペレータの報告体制の構築が極めて重要であることが改めて認識されました。そこで、両州水公社モニタリング課のチームは、WYオペレータ用に点検ポイントを写真でわかりやすく解説したチェックシートを開発しました。このチェックシートはアラビア語で作成され、スーダンの厳しい自然環境での使用に耐えるようラミネート加工したうえで各WYに設置することになりました。

<開発されたオペレータ用チェックシート>



オペレータ用チェックシート



点検のポイントを图示

